

平成30年度京都府オリンピック・パラリンピック教育推進事業 第31回京都府立高等学校体育系研究発表会

京都府立高校の体育系（スポーツ健康科学科、普通科スポーツ総合専攻）設置校6校（乙訓・洛北・鳥羽・久御山・西城陽・綾部）が合同で研究発表会を行いました。バイオメカニクス、トレーニング、指導法など研究分野は様々でしたが、年々レベルが高くなっていく中、今回の各校の代表グループも大変レベルの高い研究内容でした。

今回は久御山高校が行っている小学校・高等学校連携授業の取り組みについて実践発表が行われ、アクティブラーニングの成果についての報告が行われました。自分たちが学習したことについてより実践的に活用していく取り組みは学校内だけでなく、地域にも貢献できる内容です。学校単体だけではなく、地域社会との様々な連携を図っていくことも体育・スポーツの大切な役割です。

研究発表

（1）「膝の抜き動作が及ぼす崩しへの影響」

足利 康彰・上野 理花・中川 遥愛・増山 一流（乙訓高校）

（2）「インターハイに出場するための競技年数」

仲上 愛梨沙（鳥羽高校）

（3）「ドルフィンキック技術に関する考察」

新谷 律貴・村上 千佳・吉岡 達成（綾部高校）

（4）「セカンドボールを拾うことの重要性」

井上 晟・嶋谷 群児（洛北高校）

（5）「競技開始及び成長段階での指導法（内的キューイングと外的キューイング）の違いにより競技力の差は生まれるのか」

山中 彩由（西城陽高校）

（6）「体幹トレーニングによるフォームへの影響」

清水 健生・戸澤 悠輔（久御山高校）

実践発表「小学校・高等学校連携授業 久御山高校の取り組み」

荒川 日加里（久御山高校）

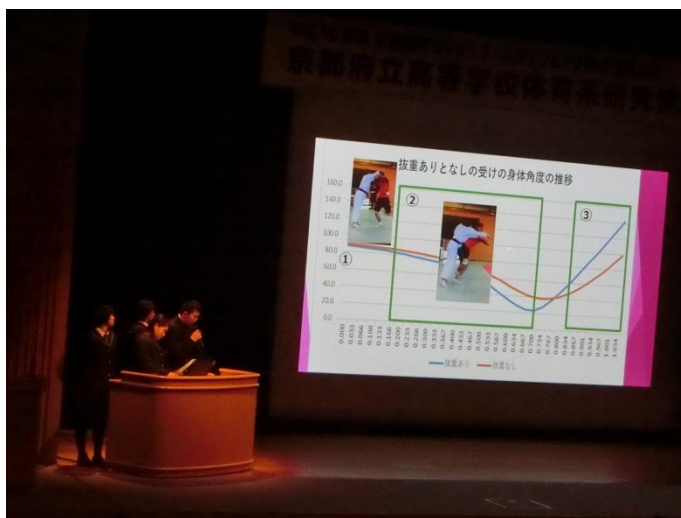


【鳥羽高校の発表】

【乙訓高校の発表1】



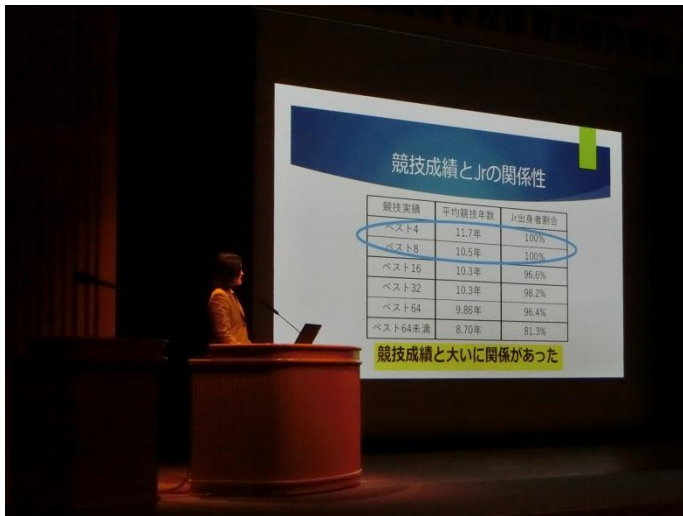
【乙訓高校の発表2】



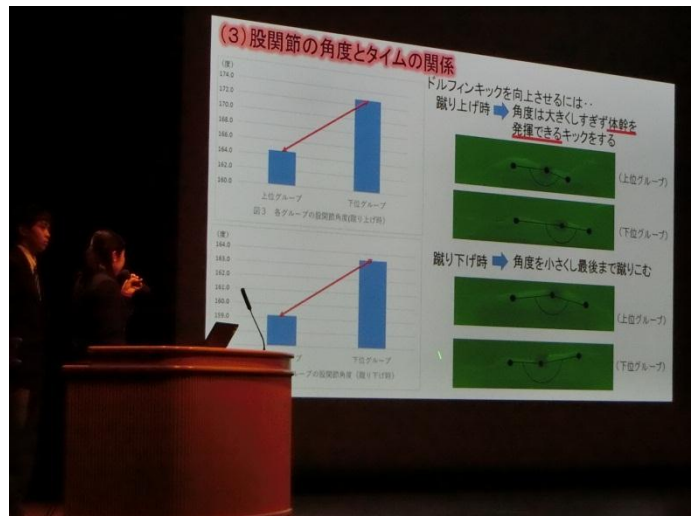
【乙訓高校の発表3】



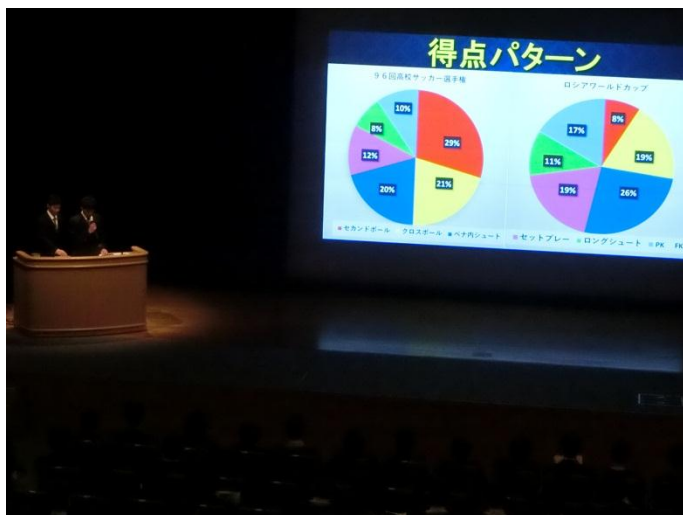
【乙訓高校の発表4】



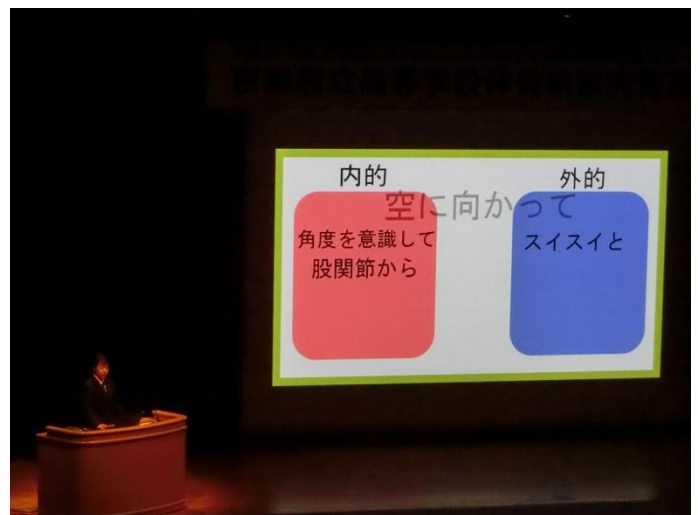
【鳥羽高校の発表】



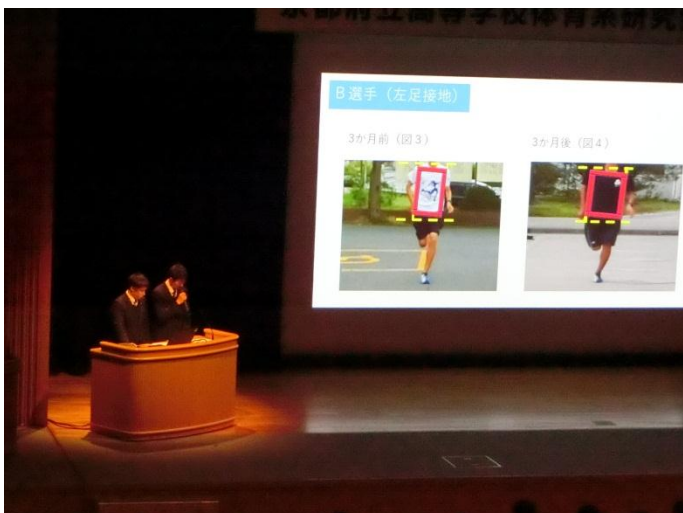
【綾部高校の発表】



【洛北高校の発表】



【西城陽高校の発表】



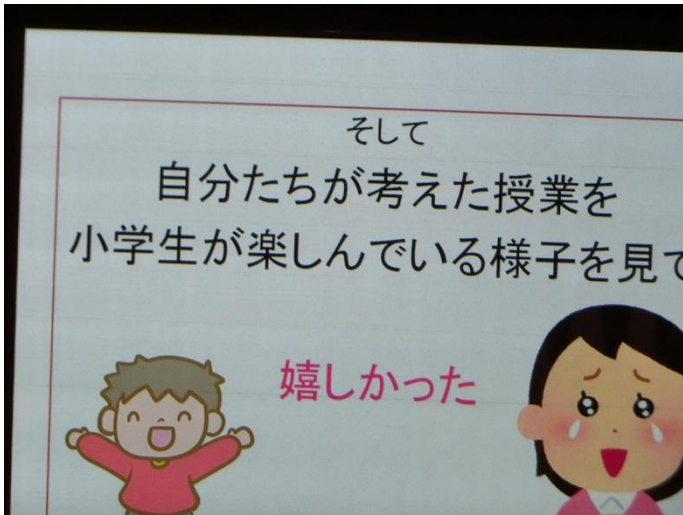
【久御山高校の発表】

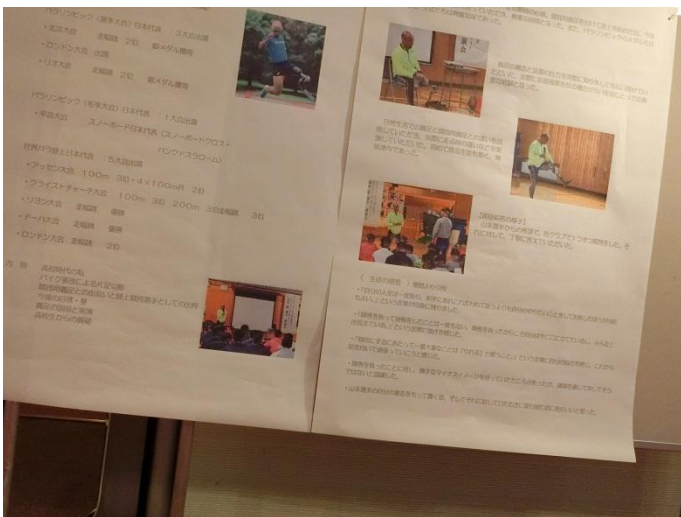


【久御山高校の実践発表】

ライフステージに応じた運動の指導法
(平成28年度)

時間	実施内容	
1	オリエンテーション	演
2	小学校との交流練習(自然体サンバ)	演
3.4	体力構成要素を理解(同志社大学 柳田先生)	演
5	小学校との交流会1(自然体サンバ)	演
6	初歩的な指導(知識・理解)	演
7	異年齢に対する簡単な指導法(運動)	演
8.9	小学校中学年の体ほぐし運動についての指導法(同志社大学 柳田先生)	演
10	体ほぐし運動の指導案作成(一人ずつ)	演
11	各グループに分かれてよりよい指導案を作る	演
12.13	10人1グループとして模擬授業Ⅰ・Ⅱ	演
14	実施した指導案を各グループで修正	演
15.16	修正した指導案で2回目の模擬授業Ⅲ・Ⅳ	演
17	指導案作成	演





【オリパラ教育推進事業 各校パネル発表】